

再処理工場稼働反対
「津軽の会」が決議文

県に提出
弘前市と近隣の住民ら約



決議文を手渡す宮永代表(右)

120人で組織する「核燃
・だまっちゃんおられん津軽
の会」(宮永崇史代表)は
18日、六ヶ所再処理工場(六
ヶ所村)が原子力規制委員
会の安全審査に合格したこ
とを受け、県に対し、原発
再稼働と再処理工場の運転
に反対する総会決議文を提
出した。

宮永代表や安藤晴美県議
ら4人が県庁を訪れ、県原
子力立地対策課の宇野正課
長代理に知事宛ての決議文
を手渡した。

宮永代表は▽施設の耐震
性、三沢基地所属の戦闘機

の墜落事故などの課題が残
り、再処理工場稼働に伴う
危険性は大きい▽核兵器に
転用できるプルトニウムの
抽出に本県が利用されては
ならない▽最終処分地の選
定が進まない中、六ヶ所村
に既に保管されている高レ

ベル放射性廃棄物が置いた
ままにされてしまうのでは
という県民の不安は大きい
と主張、「県民のことを
考え、県としての方針を強
く国に訴えてほしい」と求
めた

(加藤景子)

2020年8月19日

東奥日報 →

陸奥新報 ↓

再処理工場
運転に反対

反核団体が
県に申し入れ

日本原燃の使用済み



申し入れ書を手渡す宮永代表(右)

の会(宮永
崇史代表)
は18日、県
に対し同工
場の運転反
対を申し入
れた。
宮永代表
らが県庁を
訪れ、同工
場の安全性
への懸念な
どから運転
に反対する
申し入れ書
を提出。宮永代表は
「本当に(同工場が)
必要な場合も含めて議
論が必要」と指摘。高
レベル放射性廃棄物の
最終処分場の議論が進
んでいないことから、
「最終的に青森に置か
れてしまうのでは。県
民のことを考え、国に
訴えてほしい」と求め
た。
これに対し、県側は
原発・核燃料サイクル
政策について「国が課
題を解決し、中長期的
に責任を持って取り組
んでもらいたい。県で
は国と事業者の対応を
注視していく」とし
た。(山本恵子)